

濃厚接触者と特定された場合、感染拡大防止のために5日間の自宅待機と健康観察が必要です。ただし、以下のとおり検査で陰性が確認できた場合は待機期間が3日間へ短縮可能です。

検査について

抗原定性検査キットを用いる場合

<一般の方・事業所共通>

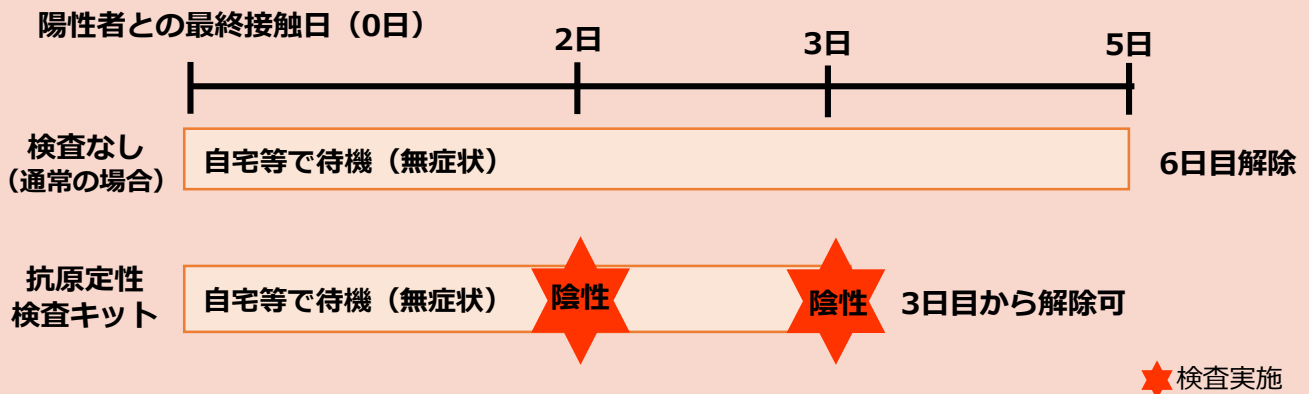
- ①抗原定性検査キットは自費検査とし、薬事承認されたものを必ず用いること
- ②無症状者に対する唾液検体を用いた抗原定性検査キットの使用は推奨されていないため、抗原定性検査キットを用いる場合は鼻咽頭検体又は鼻腔検体を用いること

<事業所の場合>

- ③抗原定性検査キットを医薬品卸売販売業者から入手する場合には、厚生労働省の定める確認書を提出すること。
- ④入手に当たっては、必要と想定される量を勘案して購入すること。

検査方法

検査のタイミング



- 2日目及び3日目の抗原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認した場合は、社会機能維持者であるか否かにかかわらず、3日目から待機期間を解除可能
- 待機期間を短縮した場合であっても、7日間が経過するまでは、検温など自身による健康状態の確認や、高齢者や基礎疾患を有する者等の感染した場合に重症化リスクの高い方（ハイリスク者）との接触やハイリスク者が多く入所・入院する高齢者・障がい児者施設や医療機関への不要不急の訪問（※）、感染リスクの高い場所の利用や会食等を避け、マスクを着用すること等の感染対策を実施すること
※受診等を目的としたものは除く

※待機期間中に体調不良になった場合は、速やかにかかりつけ医にご相談ください。

かかりつけ医がない場合等ご相談はこちら

大阪府 受診相談センター

検索